



東北復興支援



イオン心をつなぐプロジェクト

Project Aeon Joining Heart

2020年～2022年 活動報告



南相馬市小高区での取組

2017年からチーム小高として応援してきた南相馬市小高区の「灯りのファンタジーイルミネーション」も一区切りとして、これまで灯してきた灯りを小高区観光協会に寄贈しました。



小高駅にイルミネーションの取り付け、取り外しをした「イオンディライト・イオンファンタジーと小高環境協会の皆さま





小高とうがらしプロジェクト



イオン北海道で南相馬市フェア開催



イオン九州とうがらしプロジェクトで、九州各地でとうがらし栽培





離れていてもずっと応援

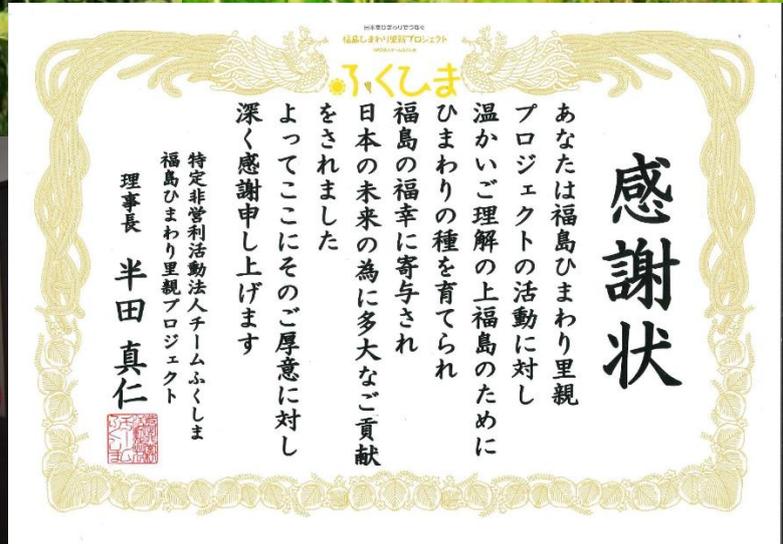
「福島ひまわりプロジェクト」



ブランシェス



マックスバリュ東海



イオンエンターテイメント



1、植樹（育樹）活動

2020 年度（植樹活動）

実施日	植樹場所（活動名）	主催者	植樹本数	参加者数
4月17日	南三陸入谷地区 (SFC 山採り苗木植樹)	心をつなぐプロジェクト	104	10
10月24日	ふるさとの杜再生植樹	仙台市	(4,000)	4
11月15日	イオンモール新利府植樹	イオンモール（株）	(1,200)	(200)
合計			104	14

（育樹活動）

実施日	実施場所	内容	人数
5月	名取市台林国有林	クロマツの捕植作業	15
6月	相馬市磯部地区国有林	除草・追肥作業	5
7月	名取市台林国有林	除草作業	8

※（ ）は参考数値

（活動写真）



冬の内に南三陸の森で採集した苗木



FSCの森 山採り苗木プロジェクト
山採り苗木植樹指導：(株) 佐久の大淵さま



イオンモール新利府南館



山採り苗木植樹の樹種表示看板

2021 年度（植樹活動）

実施日	植樹場所（活動名）	主催者	植樹本数	参加者数
10月9日	仙台市「五柱神社」植樹祭	心をつなぐプロジェクト	350	30
10月24日	南相馬市鎮魂復興市民植樹祭	南相馬市	(2,000)	200
11月3日	石巻市復興の森づくり園植樹	イオン環境財団（他）	3,000	200
12月12日	小高千本桜プロジェクト植樹	千本桜プロジェクト	24	8
合計			3,374	438

（育樹活動）

実施日	実施場所	内容	人数
5月	仙台市若林区荒浜防災林	除草作業	4
6月	気仙沼市大島亀山	除草作業	委託

※（ ）は参考数値

（活動写真）



仙台市「五柱神社」植樹



南相馬市鎮魂復興市民植樹祭



石巻市南浜ふるさとの森づくり植樹



小高千本桜植樹（プロダクトファイナンス）

2、現地ボランティア活動

(2020年～2021年) コロナ禍により従来の現地ボランティア活動は中止しました。

① オンラインボランティア交流会 (2021年、秋)

10年間のご縁にありがとう
イオン心をつなぐプロジェクト

オンライン被災地ボランティア交流会 参加者募集

Zoom 被災地ボランティア交流会開催日程(2021年)

開催日	開催地	開催時間	内容
10/13(水)	宮城県 (気仙沼市・丸森町)	9/22	被災地ボランティア交流会内容(各回共通) 開催時間 13:30~15:00(予定) ① 自己紹介 ② ボランティア活動の振り返り ③ 被災地の今を伝える ④ 現地の方との交流タイム ⑤ お楽しみ抽選会
10/27(水)	福島県 (南相馬市・広野町)	10/6	
11/17(水)	岩手県 (遠野市・陸前高田市)	10/27	参加者お楽しみ特典 ◎おれなく被災品プレゼント! ◎さらに、お楽しみ抽選会実施!

新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、やむを得ず中止となる場合がございます。

宮城県コース：2021年10月13日(水)

参加者：45名

中継場所：①気仙沼市大島

②丸森町耕野まちづくりセンター

地元の方：椿屋本舗、小野寺さま

大島ゆず農家、小山さま、

イオン気仙沼店、斎藤さま、小玉さま

耕野まちセン、大槻事務局長

地域おこし協力隊、鈴木さま、

福島県コース：2021年10月27日(水)

参加者 52名

中継場所：①南相馬市小高交流センター

②広野わいわいプロジェクト事務所

地元の方：南相馬市社会福祉協議会、鈴木さま

NPO 浮舟の里、久米さま、

小高工房、廣畑さま

双葉屋旅館、小林さま

広野わいわいプロジェクト、根本さま

広野わいわいプロジェクト、磯辺さま、他



【宮城】耕野まちづくりセンター



【岩手】語り部、釘子さま

岩手県コース：2021年11月17日(水)

参加者：46名

中継場所：①陸前高田市まちなか広場

②遠野市寒風ヴァインヤード

地元の方：語り部、「釘子屋」、釘子さま

遠野まごころネット、佐藤理事長

遠野まごころネット、荒川さん

② 各社・事務局が行った作業

作業場所	作業時期	作業内容
【岩手県遠野市】	2020年 10月 11月～12月 11月～12月	ワイン用ぶどうの収穫・選別 ブドウの冬囲い作業 〃 (サンデー・SUC・メガスポーツ)
【宮城県南三陸町】	2020年 3月	南三陸ワイナリーブドウ植樹
【福島県南相馬市】	2021年 5月 2021年 7月	とうがらし苗の植え付け 除草作業
【宮城県丸森町】	2021年 11月	干し柿づくり援農 (MV 東海)
【福島県広野町】	2020年 5月 2020年 8月 2020年 11月	オーガニックコットン苗の植え付け 除草作業、株分け オーガニックコットン収穫作業

活動の様子



(MV 東海、丸森町耕野で干し柿づくり)



(小高とうがらしプロジェクト)



(広野オーガニックコットン除草作業)



(遠野寒風ヴィンヤード雪囲い作業)

3、各社の活動（未来共創プログラム）

① 南相馬市小高産業技術高等学校×イオン お弁当を共同開発（2017年から継続）

～小高産業技術高等学校&イオンが共同開発したお弁当2品について～

地域はもちろん、県外の方にも、相双地域の魅力と復興を頑張っていることを伝えるとともに、郷土の味を楽しんでいただきたいという気持ちで作りました。「地域の復興」「地元の良さの発信」をお弁当に詰め込んでいます。



一緒にたべっぺ！笑顔あふれる北寄貝弁当



- ・ほっき飯
(南相馬市産天のつぶ使用)
- ・焼売しらすのせ
(福島県産しらす使用)
- ・カニ風味グラタン
- ・かぼちゃコロッケ
- ・青さいり玉子焼き
- ・かつお時雨煮

一緒にたべっぺ！笑顔あふれるおにぎり弁当



- ・鶏五目ごはん・塩飯
(南相馬市産天のつぶ使用)
- ・相馬きゅうり漬け
- ・青さいり玉子焼き
- ・鶏唐揚げ

② いわき市「遠野和紙さま」×広野小学校 「バナナペーパーの卒業証書制作」

2020 10月
いわき市「遠野和紙さま」
和紙の原料となる「楮（こうぞ）」の苗
50本贈呈・植樹
2019年～21年 12月
バナナペーパーの卒業証書制作支援



バナナ利用し卒業証書

6年生 広野小 茎の繊維混ぜ紙すき

広野町の広野小の六年生は四月、町の特産「平山さん」のあいさつに「平山さんの指導を受け、届くあるバナナの繊維、主原料になるコシ、現産は材料を木の書を使った和紙の卒業証書にバナナの茎の繊維を混ぜ、紙すき、挿し紙を作るため、紙すき、繊維を混ぜた材料を使っ、ながら、一枚の和紙に仕上げる作業を行った。

同校では二〇一九（令和元）年度から、町振興公社が二ツ沼総合公園で栽培しているバナナの繊維を使った卒業証書制作に取り組んでいる。いわき市の遠野和紙の店鋪平山房「遠野紙子屋」代表の平山裕さんが指導した。児童三十八人が参加

平山さん（左）の指導を受け、卒業証書で使う和紙の紙すきに取り組む児童ら

卒業証書
小学校の全課程を
修了したことを証する
令和二年三月十日
福島県いわき市平山房
卒業証書製作委員会 代表 平山裕

上げた。現産は平山 完成した和紙卒業証書はイオンの東 卒業証書となる卒業証 三月の卒業式で卒業証 北広野「未来共創プロ 書として、それぞれの クラウドの一種として と届いていた。 現産に送られる。 実施している。

② 光洋・MV 西日本：浪江町オンライン交流会

2016 年から続いている浪江町の皆さんと光洋・MV 西日本の交流もコロナ禍で、現地での支援ができなくなっていました。2020 年秋、相互に近況報告だけでもと ZOOM で交流会を企画いたしました。

9 月 24 日は「一般社団法人まちづくり浪江」さまと、10 月 1 日には「NPO 新町なみえ」さまと、現地と大阪、広島をつないで交流会が開催されました。

およそ 40 名の参加者が浪江の皆さまの話に耳を傾け、原発事故から 10 年目を迎えた浪江の様子について真剣に話を聞いていました。



現在の浪江の様子を話す原田さま



光洋・MV 西日本の参加者の皆さま

④ イオンスーパーセンター：EC サイトに「心をつなぐお買い物」を展開

A screenshot of the AEON ONLINE SHOP website. The page features a banner with the text "イオン心をつなぐお買い物" (AEON Heart-to-Heart Shopping) and "従業員がボランティア活動でお手伝いした商品です" (Products supported by employees' volunteer activities). Below the banner, there are buttons for "イオン心をつなぐプロジェクトについて詳しくはこちら" (Click here for more details about the AEON Heart-to-Heart Project) and "「イオン 心をつなぐお買い物」とは" (What is "AEON Heart-to-Heart Shopping"?). A small video player is visible at the bottom right of the page, showing a woman in a red headscarf.

イオンスーパーセンターは「心をつなぐお買い物」の取組に賛同し自社の EC サイトにコーナーを新設しました。プロジェクト終了後も東北ではぐくんだ地元の皆さまとのご縁を、全国のイオンピープルに届けていただきます。

またスーパーセンター栗原紫波姫店では産直コーナーに「心をつなぐお買い物」コーナーを設けていただき、単にボランティア活動するだけではないイオンの東日本大震災への対応を、お客さまに知っていただく取り組みをしています。

⑤ ダイエー：「NPO ザ・ピープル」に古着 7,300 枚を寄贈



ダイエーは東北支援活動として、いわき市の NPO ザ・ピープルに、従業員が持ち寄った衣類 7,300 着を寄贈しました。この取り組みは 3 年目を迎え、震災から 10 年となる今年は参加者が初年度の 1.5 倍、集めた衣類は 2 倍となり活動が社内にしっかりと根付いてきました。

NPO ザ・ピープル代表の吉田理事長からは「いただいた衣類は私たち NPO の活動を支えるだけでなく、肌着などは介護福祉の現場で直接、生活困窮者の助けとなっています」とお礼の言葉をいただきました。またザ・ピープルが目指す、衣類をゴミとして燃やさない社会の仕組みづくりの実現のために、これからも継続した協力を依頼されました。(2020 年 12 月 16 日)

⑥ イオンペット：東北 3 県の行政(愛護センター・保健所)の動物へ寄付



イオンペットは、「イオン心をつなぐプロジェクト」の取り組みの一環として、東北 3 県（岩手県、福島県、宮城県）のペテモ店頭にてお客さまにお寄せいただいたペット用品等を回収し、同 3 県内の動物愛護センターと保健所の計 6 施設に寄付(支援)しました。冬場の寒さが厳しくなる東北地域の収容動物たちの生活環境のサポートにお役立ていただきます。

イオンペットはこれからも動物愛護にかかわる発信を行うとともに、地域のお客さまとともに動物愛護活動に取り組むことで、ペットの地位向上を促進し、動物と人間の幸せな共生社会の実現を目指します。

⑤ 心をつなぐプロジェクト「活動パネル展」2021年実施



- ① 6月16日～：フォーラス仙台
- ② 6月17日～：イオン秋田中央
- ③ 7月1日～：イオンモール新利府北館
- ④ 7月28日～：イオン九州イオン大牟田店
- ⑤ 7月30日～：イオンモール盛岡
- ⑥ 11月：イオンモール鈴鹿
- ⑦ 11月：イオンモール札幌平岡



⑥ 内閣府「ぼうさいこくたい2021～いわて釜石～」

2021年11月6日・7日
イオンタウン釜石も含め周辺が会場となり「ぼうさいこくたい2021」が開催されました。

心をつなぐプロジェクトでもエントリーし「地域社会と協働した復興への取組」をテーマに遠野まごころネットの白澤さま、イオン気仙沼の斎藤さまにブースに立っていただき10年間の成果発表をいたしました。



防災学習「東日本大震災から学ぶ」



津波に襲われるイオン気仙沼店



3・11の出来事をイオン気仙沼店の OB 齋藤光代さんがお話ししました。

2021年度「防災学習」を実施したのは以下の通りです

8月5日：イオンアイビス、イオンドットコム

イオンマーケティング 【76名】

1月11日：イオンリテール北陸信越カンパニー 【101名】

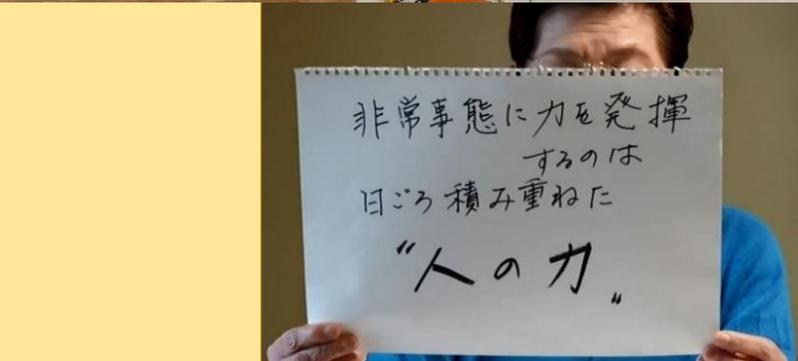
2月25日：イオンリテール中国四国カンパニー 【142名】

《参加者の感想》

講師の方々の体験に基づいた貴重なお話で、大変身近に感じられました。振り返ってみると、この職場で被災した際の、避難場所や避難経路も答えられない状態であることにショックを受けました。

いつでも被災者になり得る昨今、「自助・共助・公助」を基本に、災害に備えて行こうと思います。早速、ご紹介いただいたアプリは入れることといたします。

ありがとうございました。



東日本大震災から 10 年

東北から始まる日本のふるさとづくりシンポジウム



震災から復興への取り組みは、10年の節目を迎えました。東北で培われた地域の絆と、ふるさとを育むちから。このちからを日本の未来に広げていくことが私たちの使命だと考えます。これからの日本が直面する様々な課題に、東北が先行して取り組んできたこと。この資産を全国に活かしていきたいのです。先の見通せない、不確実なまこそ、新しい地域づくりを始めるタイミングです。誰もが自分のふるさとだと思える、そんな心の拠り所を日本のあちこちに。東北のシンポジウムから、日本のふるさとづくりが始まります。

岩手・宮城・福島の高校生の皆さんと一緒に、ふるさと東北、そして日本のこれからについて考えました。ふるさで被災し復興の過程と見て育った彼らの言葉、一言一言に、私たちは感動し、その思いの深さに大きなエールをいただきました。





東北の豊かな未来のために、お客さまとともに。

www.aeon.info/environment/kokoro/

Facebookもチェック 

イオン心をつなぐプロジェクト

<https://www.facebook.com/aeonkokoro/>



お問い合わせ先 本報告書の内容やイオンの環境保全・社会貢献活動について、ご質問やご意見がございましたら下記にご連絡ください。

イオン株式会社 グループ環境・社会貢献部 〒261-8515 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1 Tel:043-212-6037 Fax:043-212-6790
イオンWebサイト<http://www.aeon.info/>